

【核融合分野人材育成に関するアンケート調査の依頼】

下記の質問に関して、所定の欄に回答頂き、平成27年10月31日までに核融合ネットワーク事務局 (f-net-jimu@nifs.ac.jp) へ返送願います。

記入上の注意

研究グループ(研究所、センター、講座、研究室など、規模の大小は問いません)ごとにまとめてご回答下さい。
(例えば、△△センター、プラズマ物理講座、山田研究室、など)

【研究グループ(研究所、センター、講座、研究室など)へのアンケート用紙】

- (1) 研究グループの構成員全員のお名前 (平成27年4月1日現在) - 学生以外
(記名調査とするのは、回答者の重複を避けるためで、個人情報の守秘には十分注意致します。)
(注意: 1. 下記の欄で足りない場合は、**追加行数を増やして**ご記入下さい。
2. 差し支えなければ**メールアドレス**もご記入下さい。

構成員全員:

お名前	e-mail								

(2) 研究グループの構成

(2)-1 研究グループの構成教員数

【現在】(平成27年4月1日)

教授 人 准教授 人 講師 人 助教 人 (現員中、テニュアトラック制度による採用数) 人
 特任教員等 人 PD 人 その他 人 (その他には研究職に相当する人員をお答え下さい: 具体的な職名:)

25-29歳 人 30-34歳 人 35-39歳 人 40-44歳 人
 45-49歳 人 50-54歳 人 55-59歳 人 60歳以上 人

【約10年前】

教授 人 准(助)教授 人 講師 人 助教(手) 人
 特任教員等 人 PD 人 その他 人 (その他には研究職に相当する人員をお答え下さい: 具体的な職名:)

25-29歳 人 30-34歳 人 35-39歳 人 40-44歳 人
 45-49歳 人 50-54歳 人 55-59歳 人 60歳以上 人

【着任前の研究分野】

(研究グループの構成員が現在の職に着任する前(場合によっては学生時代も含む)に専門としていた分野をお答え下さい。
複数(経験したことがある分野全て)記入していただいて結構です。

プラズマ・核融合分野
 プラズマ基礎 人 プラズマ応用 人
 核融合プラズマ 人 核融合炉工学 人

プラズマ・核融合以外の分野
 物理系 人 機械系 人
 電気系 人 化学系 人
 原子力系 人 材料系 人
 その他の分野 人
 その他の場合、具体的な分野をすべてお答え下さい。

【現在の研究分野】

(注: 主たる研究分野を一つ選んで記入してください。)

プラズマ・核融合分野
 プラズマ基礎 人
 プラズマ応用 人
 (以下核融合関連)
 超伝導コイル開発 人
 ブランケット開発 人
 ダイバータ開発 人
 加熱・電流駆動システム開発 人
 理論・計算機シミュレーション研究 人
 磁場閉じ込め(炉心)プラズマ研究 人
 計測・制御開発 人
 核融合燃料システム研究 人
 核融合材料開発または規格・基準策定 人
 核融合炉の安全性と安全研究 人
 稼働率と保守性 人
 原型炉概念設計 人
 レーザードライバー開発 人
 爆縮プラズマ研究 人
 ターゲット開発 人
 その他の場合、具体的な分野をすべてお答え下さい。

プラズマ・核融合以外の分野
 物理系 人 機械系 人
 電気系 人 化学系 人
 原子力系 人 材料系 人
 その他の分野 人
 その他の場合、具体的な分野をすべてお答え下さい。

(2)-2 所属学会(平成27年4月1日現在) - 研究グループ内の延べ人数

プラズマ・核融合 人 原子力学会 人
 物理学学会 人 応用物理学学会 人
 レーザー学会 人 機械学会 人
 電気学会 人 金属学会 人
 化学学会 人 低温工学・超電導学会 人
 真空学会 人 その他 人
 その他の場合、具体的な学会名をすべてお答え下さい。

(2)-3 学生数(平成27年4月1日現在)

学部(卒研究生): 日本人男性 人 女性 人 留学生男性 人 (国籍:) 女性 人 (国籍:)
 学部生の所属学科 理学部 人 (学科名:)
 工学部 人 (学科名:)
 その他 人 (学部・学科名:)
 ※理工学部などの場合は、**学科名等により、理学または工学の近い方で、ご記入下さい**

修士課程: 日本人男性 人 女性 人 留学生男性 人 (国籍:) 女性 人 (国籍:)
 修士学生の所属学科理学研究科 人 (専攻名:)

工学研究科 人 (専攻名:)
 その他 人 (研究科・専攻名:)

博士課程: 日本人男性 人 女性 人 留学生男性 人 (国籍:) 女性 人 (国籍:)
 博士学生の所属学科理学研究科 人 (専攻名:)
 工学研究科 人 (専攻名:)
 その他 人 (研究科・専攻名:)

(2) - 4 核融合研究に対するウェイト (あてはまる数値の右欄に○印をお願いします。核融合研究とは【現在の研究分野】の核融合分野に対応します。)

(注: 研究グループの研究活動において、核融合研究が占める割合を主観的に結構です。ご回答下さい。)

【現在】

80%以上 79-60% 59-40% 39-20% 20%未満

【約10年前】

80%以上 79-60% 59-40% 39-20% 20%未満

【現在の核融合以外の研究分野をご記入下さい。(複数ある場合は全てご記入下さい)】

(3) 博士および修士の取得者数の動向

【修士課程学生の動向】

日本人学生	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	日本人	人(男) 人(女)																
修士課程修了生の就職先	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人
	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人
	C1	人																
	C2	人																
	C3	人																
	C4	人																
	C5	人																
	C6	人																
C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	

留学生	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	留学生	人(男) 人(女)																
修士課程修了生の就職先	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人
	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人
	C1	人																
	C2	人																
	C3	人																
	C4	人																
	C5	人																
	C6	人																
C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	
D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	

(就職先は以下のカテゴリに分類して回答下さい。)

- A: 核融合関連の研究職 (博士課程進学やPDを含む)
- B: 原子力関係の研究職・公的機関
- C1: 民間企業 (核融合関連)
- C2: 民間企業 (原子力関係)
- C3: 民間企業 (重電, 産業用電気機器, 電力, プラント関係)
- C4: 民間企業 (総合電機, 家電関係)
- C5: 民間企業 (自動車, 輸送機器関係)
- C6: 民間企業 (情報, ソフトウェア関係)
- C7: その他
- D: 帰国

C7のその他について、調査可能な範囲で結構です下記にご記入ください。

--

Dに関して帰国後の職種が分かる場合はご記入ください

--

【博士課程学生の動向】

日本人学生	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	日本人	人(男) 人(女)																
博士課程修了生の就職先	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人
	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人
	C1	人																
	C2	人																
	C3	人																
	C4	人																
	C5	人																
	C6	人																
C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	

(就職先は以下のカテゴリに分類して回答下さい。)

- A: 核融合関連の研究職 (博士課程進学やPDを含む)
- B: 原子力関係の研究職・公的機関
- C1: 民間企業 (核融合関連)
- C2: 民間企業 (原子力関係)
- C3: 民間企業 (重電, 産業用電気機器, 電力, プラント関係)
- C4: 民間企業 (総合電機, 家電関係)
- C5: 民間企業 (自動車, 輸送機器関係)
- C6: 民間企業 (情報, ソフトウェア関係)
- C7: その他
- D: 帰国

C7のその他について、調査可能な範囲で結構です下記にご記入ください。

--

Dに関して帰国後の職種が分かる場合はご記入ください

--

(4) 核融合に関連する教育プログラム（講義や演習、実験など）の実態

（注：核融合に関連した教育の一環として教えている授業・演習・実験などについてお答え下さい。例えば、プラズマ物理学や核融合炉工学などに限らず、電磁気・流体力学・材料科学なども核融合に関連した内容を含む場合はご記入下さい。）

学部の科目数 コマ
 具体的な講義名：

 演習や実験の実態と特徴：

大学院の科目数 コマ
 具体的な講義名：

 演習や実験の実態と特徴：

【教育プログラムに対する問題点やご意見】

現在の教育プログラムの問題点やご意見をご自由に記入下さい。

【海外との交流】

・学生の海外派遣（のべ人数）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
・短期派遣（国際会議等）	人	人	人	人	人	人	人	人	人
・長期派遣（1ヶ月以上）	人	人	人	人	人	人	人	人	人

・学生の海外派遣に関する課題・問題点を具体的にお聞かせ下さい。

(5) 研究論文のカテゴリ

【論文の投稿数と投稿分野】

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
核融合プラズマ	編	編	編	編	編	編	編	編	編
核融合炉工学	編	編	編	編	編	編	編	編	編
プラズマ基礎	編	編	編	編	編	編	編	編	編
プラズマ応用	編	編	編	編	編	編	編	編	編
その他の分野	編	編	編	編	編	編	編	編	編

（注1）研究グループのメンバー（学生も含む）が主体的な論文（筆頭著者）のみをまとめてください。

（注2）査読付き論文に限ってください。

その他の分野の論文に関して、分野をご記入下さい。

(6) 自由記載欄（アンケートに関するコメント、核融合教育等の特別な取り組み事例、核融合研究推進に関するご意見など 自由にご意見をご記入ください。）

(7) 核融合関連分野の採用実態

【大学、核融合科学研究所】

		平成18年度				平成19年度				平成20年度				平成21年度				平成22年度			
採用総数	内	人	外部	人	外部																
	教授	人	外部	人	外部																
	准教授	人	外部	人	外部																
	講師	人	外部	人	外部																
	助教	人	外部	人	外部																
	PD相当	人	外部	人	外部																
	技術職員	人	外部	人	外部																
特任教員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	

		平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度			
採用総数	内	人	外部	人	外部												
	教授	人	外部	人	外部												
	准教授	人	外部	人	外部												
	講師	人	外部	人	外部												
	助教	人	外部	人	外部												
	PD相当	人	外部	人	外部												
	技術職員	人	外部	人	外部												
特任教員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	

注意：内部は内部昇格、外部は外部からの採用を表します。助教、PD相当職の場合、同じ大学（核融合研であれば総研大）から採用された場合、内部昇格としてください。

【日本原子力研究開発機構】

		平成18年度				平成19年度				平成20年度				平成21年度				平成22年度			
採用総数	内	人	外部	人	外部																
	正規職員	人	外部	人	外部																
	任期付職員	人	外部	人	外部																
	博士研究員	外部	人	外部	人																

		平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度			
採用総数	内	人	外部	人	外部												
	正規職員	人	外部	人	外部												
	任期付職員	人	外部	人	外部												
	博士研究員	外部	人	外部	人												

核融合分野の人材育成、人の流動性など、自由にご意見を記載してください

(8) 日欧で進めている核融合研究開発の幅広いアプローチ活動（BA活動）に参加している研究者数 ー研究グループ内の延べ人数

 人

以上です。ご協力有難うございました。